日本共産党 和歌山市会議員
ひめだ高宏ニュース
NO.1407
'22.10.4

9月定例市議会報告

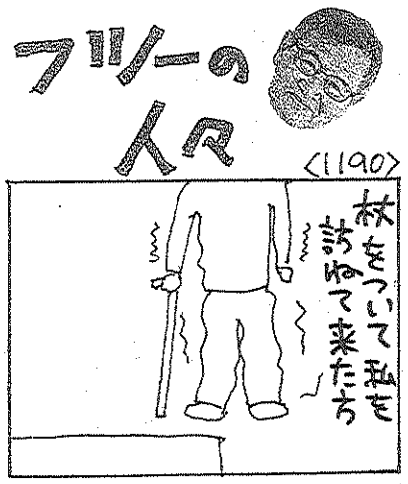
10月最初の土日は絶好の秋晴れ。金曜の帰り道、後から来た議会事務局職員が「明日は子どもの運動会」と言うのでいいね」と言うと「午前中だけです」とのこと。コロナはまだまだですね。今号は、日本共産党市会議員団の一般質問の続きと、追加提案された一般会計補正予算について報告します。

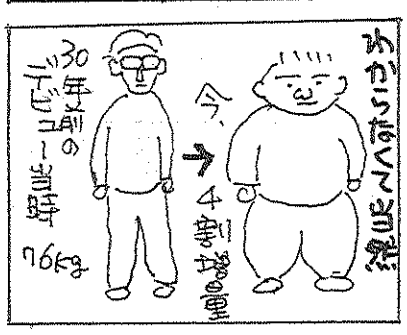
旧統一協会に関わる諸問題

9月28日（水）日本共産党の森下さちこ市議は、一般質問で旧統一協会の関連団体「UPF」＝天宙平和連合のイベントであるピースロード和歌山の取り組みに前副市長が表敬訪問を受けていた写真がユーチューブに配信されていたことについて、党市議団が市長に経緯と現時点での考え方、写真の使用中止を申し入れた件に関し、市長に考え方を質問。尾花市長は旧統一協会について、「行政の長として関わりを持たないように対応すべき団体である」と答弁しました。

森下議員は、自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）＝デジタル技術やデータを活用して業務効率化を図り住民の利便性や行政サービスの向上を図ることと個人情報保護について質問。国が自治体の持つ多様な情報を民間事業者に活用させるため個人情報保護法「改正」で規制緩和を進めようとすることから、市民生活を守る立場での対応を求めました。

フツーの人々 〈1190〉





一般会計補正予算・追加分概要

9月26日（月）一般会計補正予算追加分4億7千万円が提案されました。

物価高騰緊急支援給付金事業は、物価高騰の負担増の影響が大きい住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり5万円を給付する30億9千万円を計上。

今週のフツーの人々 （その353）

月日の経過は怖いナと

「天高く馬肥ゆる秋」空は高く晴れ渡って馬も食欲が出てきて、たくましく肥える秋のことです。ウマ年の私としては「だから秋は太っても、しょうがない」と思わせてくれるいい言葉です。現実は天の低い冬には冬の、陽気のいい春には春の、暑い盛りの夏には夏の食欲がそれぞれあり、やせることがありません。

先日、市議団の控え室に杖をついて私を訪ねてきた方がいました。どこの誰だろと名刺を出してあいさつすると、私の顔をマジマジと見て「変わったなー。メガネもかけてないし、わからなんだわ」と言いながら「○○よ」とマスクを外して顔を見せてくれました。塩屋の最初の家の近所にいたKさんです。Kさんが驚いたように私もとても弱ったKさんの変わりようにビックリしました。

ひめだ高宏

672万8千円、マイナンバーカード普及促進事業は、マイナカードの普及促進と物価高騰に対する生活者支援としてカードの新規申請者と保持者を対象に金券（3千円のクオカード）支給に9億6499万7千円、観光誘客対策事業は、本市の子ども・若者に活気を与えるため東京ガールズコレクションの地方開催に要する経費の一部を補助する3500万円、防犯灯電気料補助事業は、電気料金の高騰による各地区保有の防犯灯電気料金の高騰分を補助する528万9千円、収集運搬許可事業者支援事業は、原油価格高騰の影響について家庭ごみや粗大ごみの収集業務を行う事業者の負担の一部を補助する509万6千円です。

移住者増にチョットびっくり

9月29日（木）総務委員会で市長公室に他の自治体から本市への移住者数を質問しました。担当の移住定住戦略課によると、2021（R3）年度は77世帯140人が、2022（R4）年度は42世帯94人が移住したとのこと。思った以上の数にチョットびっくり。

移住してきた方々が惹かれた和歌山市の魅力や期待を内外に広く宣伝することを求めました。

こんにちは 日本共産党です

ロシアの併合宣言

ロシアのプーチン政権は、ウクライナ東部・南部4州の「住民投票」で賛成が多数を占めたとして、9月30日、ロシアへの併合を一方的に宣言しました。武力で侵略し、銃で脅して強要した投票です。

国連憲章は加盟国の主権、独立、領土保全の尊重を定め、武力行使と武力による威嚇を禁じています。併合宣言は、領土拡張の野心のために憲章と国際法を幾重にも踏みにじる大国主義、覇権主義の暴挙であり、直ちに撤回すべきです。

併合宣言は戦力不足を補うための予備役動員、核兵器使用の威嚇と一体に行われました。追い詰められたプーチン政権が打開を狙ったことは明らかです。「侵略戦争をやめよ」「国連憲章を守れ」の声でさらにプーチン政権を包囲することが何よりも重要です。

潮流

（22.10.1日刊赤旗）

スーパーのカートにビールの箱を次々と積み上げていく男性がいました。買い置きでしょうか。10月からほとんどの酒類が値上げすることで、コロナ禍で定着した家飲みを直撃します▼この秋は、さらなる値上げの波に見舞われます。加工食品や調味料、飲料や乳製品、せんべいなどのお菓子まで。民間の調査会社によると、なんと6500品目以上にものぼり、値上げ率は平均でおよそ16%になるそうです▼原材料やエネルギー価格の高騰、異常な円安による輸入物価の上昇などが相まって、とどまらない値上げラッシュ。食品や日常生活におよび、1世帯あたりの負担は年間でおよそ7万円増との試算もあります▼物価高に追い打ちをかけているのが公的年金の減額と、今月から引き上げられる75歳以上の医療費窓口負担です。一定以上の所得がある約370万人が対象で、1割から2割へ倍化します。すでに現役並み所得者とされる人たちは3割負担で、今度は中低所得者を狙い撃ちしました▼自民や公明などが昨年成立させた改悪法に基づいたもので、今後は対象者の拡大も。格差と貧困をひろげ賃金も上げずに負担増を強いてきたアベノミクスを継承する岸田政権。値上げを止める手だてもなきに等しい▼黙ってはいられません。イギリスでは女王国葬の翌日からストライキを決行しているといいます。鉄道や港湾、通信など各分野の労働組合や働くんびとが、賃上げや負担の軽減を求めて立ち上がっています。日本もたたかいの秋です。

しんぶん赤旗　日刊紙・日曜版の普及にご協力を。